

2019年8月2日

## (臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経外科に、超急性期脳梗塞に対し経皮的脳血栓回収術を施行し入院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

経皮的脳血栓回収術においてペナンプラ吸引カテーテルが内頸動脈サイフォン部を通過できなかった要因の検討（後ろ向き観察研究）

### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 脳神経外科学講座 講師（氏名）八子 理恵

### 3. 研究の目的

内頸動脈サンフォン部の解剖学的要因を調べ、内頸動脈サンフォン部におけるペナンプラ吸引カテーテルの通過阻害因子を検討すること。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

2015年1月から2018年3月までの期間中に当科で前方循環の超急性期脳梗塞に対し経皮的脳血栓回収術を施行された患者さん

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、既往歴、手術手技、内頸動脈の解剖学的特徴（内頸動脈の径、眼動脈の径、その比、内頸動脈サイフォン部の曲率半径）、再開通率、再開通までの時間、転帰に関する情報です。

#### (3) 方法

ペナンプラカテーテルが内頸動脈サイフォン部を通過可能であった群と通過不能であった群に分類し、上記調査項目に関して、統計学的解析を行います。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

### 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 担当医師 栗山 衣美

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-447-1771

E-mail : emi.k@wakayama-med.ac.jp